

山口県は高齢化が進んだ県と言われます。県統計分析課が推計した2012年10月1日現在の山口県の「65歳以上人口」（高齢者人口）の割合は、29.2%で30%目前です。

こうした本県の状況を、平成22（2010）年の国勢調査でみると、「単独世帯」や「夫婦と子供から成る世帯」の割合が高い全国的な傾向に加え、「夫婦のみの世帯」の割合が24.1%で全国第1位という大きな特徴があります。

このうち、高齢夫婦世帯は56.8%と高い割合を占めており、子供が巣立った後も多くの夫婦がそろって長年暮らしている姿が見えてきます。

どのような背景があるのか、考えてみたいと思います。

平成23年の社会生活基本調査によると、山口県の男性の家事（炊事、洗濯、掃除など）時間は1日平均24分と全国第3位。前回調査より2分延びています。

65歳以上の男性に限ってみると、男性全体の平均時間よりさらに延びて1日平均57分です。退職後の自由時間を家事に充てるなど、世帯で協力しあって暮らしていこうとする姿勢が見えてきます。

とはいえ、県内の女性全体の家事時間は2時間38分で、男性と比較して圧倒的に長く、男性にはまだまだ積極的に家事に参加する余地がありそうです。

こうしてみると、夫婦間でコミュニケーションを図って家事の分担を上手に行い、協力し合っていくことが、世帯が長く円満に暮らしていくための秘訣の一つと思われます。そのためにも、県内の男性のさらなる家事参加を期待したいところです。

